

1年生 算数科「ながさくらべをしよう」 実践記録



魚の長さを比べるために正しい測り方を考え合う子どもたち。
鉛筆を使って長さを表した友だちに
「はしをしっかりとそろえること」
を伝えている。



「鉛筆や数え棒は違う長さのものを合わせて測ったから、幾つ分の数がばらばらだけど、大きいクリップは、全部同じ大きさのもので測ったから、みんなが同じ数になりました。」
と伝える子ども。



「同じもので測ると長さが分かる」ということから、2ひきの魚を全部同じ長さの数え棒で測って確かめてみる子どもたち。

